



令和5年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和4年10月13日

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 昌之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 沼田 豊 (TEL) 03-3362-7130
 四半期報告書提出予定日 令和4年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年5月期第1四半期の連結業績(令和4年6月1日~令和4年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年5月期第1四半期	12,861	△1.5	348	9.7	341	1.8	111	75.0
4年5月期第1四半期	13,062	1.4	317	—	335	—	63	—

(注) 包括利益 5年5月期第1四半期 114百万円(83.8%) 4年5月期第1四半期 62百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年5月期第1四半期	11.88	8.99
4年5月期第1四半期	6.83	5.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年5月期第1四半期	23,151	6,683	27.6
4年5月期	23,746	6,699	26.9

(参考) 自己資本 5年5月期第1四半期 6,379百万円 4年5月期 6,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
5年5月期	—	—	—	—	—
5年5月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年5月期の連結業績予想(令和4年6月1日~令和5年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,860	△0.2	768	△2.5	748	△8.1	219	△12.6	23.40
通期	51,909	0.6	1,606	5.7	1,561	2.9	543	21.4	58.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

5年5月期1Q	9,673,785株	4年5月期	9,673,785株
5年5月期1Q	321,100株	4年5月期	321,100株
5年5月期1Q	9,352,685株	4年5月期1Q	9,294,581株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（令和4年6月1日～令和4年8月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、景気が持ち直していくことが期待されておりますが、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇による影響や供給面での制約等に十分注意する必要がある状況です。

こうしたなか、当社グループは令和3年12月24日に「中期経営計画L S G（Leading to Sustainable Growth）2024」を公表し、株主価値の更なる向上を目指し、競争力を強化し成長していくため、①投資家に選ばれる会社になるための取り組み強化、②調剤事業を核とした事業展開による収益獲得強化、③経営基盤の更なる強化による収益構造の改善、を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高12,861百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益348百万円（前年同期比9.7%増）、経常利益341百万円（前年同期比1.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は111百万円（前年同期比75.0%増）となりました。

セグメント毎の業績は次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。変更の詳細につきましては、「2 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」を参照ください。

（調剤薬局事業）

当第1四半期連結累計期間における調剤薬局事業の業績は、薬価改定の影響により売上高は10,388百万円（前年同期比1.2%減）と減収になったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による受診抑制の緩和を背景とした処方せん枚数の回復の兆しや調剤技術料の獲得増等を主な要因としてセグメント利益は398百万円（前年同期比5.4%増）と増益になりました。同期間における調剤薬局店舗は3店舗増加、1店舗減少で、当社グループが運営する店舗数は303店舗となりました。増加した店舗は、株式譲渡により取得した有限会社映双薬局の2店舗（神奈川県）及びファーマライズ株式会社の新規開局の1店舗（大阪府）であります。

薬局運営面につきましては、選ばれる「かかりつけ薬局」となるために、①地域医療（在宅医療及び施設調剤、地域連携薬局、専門医療機関連携薬局）の実施、②後発医薬品推進、③患者情報の一元管理や重複投与・飲み合わせ・残薬確認強化の観点から電子お薬手帳「ポケットファーマシー」の利用促進、④生活習慣病の予防を継続的に支援していくことを目的とした、当社独自の健康寿命延伸プログラムである「継続支援プログラム」の推進、⑤かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護や食事・栄養摂取に関することまで気軽に相談できる薬局、健康サポート薬局についても、継続的に推進しております。当社グループでも地域連携薬局は順調に増加しており、当第1四半期連結会計期間末時点で115店舗（前年度末比19店舗増）となりました。専門医療機関連携薬局につきましても認定取得に向け準備を進めております。また、健康サポート薬局は当第1四半期連結会計期間末時点で78店舗（前年度末比7店舗増）となりましたが、引き続き店舗数の増加に注力してまいります。

（物販事業）

当第1四半期連結累計期間における物販事業の業績は、売上高は1,972百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント損失は35百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となりました。これは、ドラッグストアにおける前年の巣ごもり需要の減退等による客数の減少が主な要因であります。同期間における調剤を併設しない本セグメントの当社グループが運営する店舗数は45店舗であります。

（医学資料保管・管理事業）

当第1四半期連結累計期間における医学資料保管・管理事業の業績は、売上高は169百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は20百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

（医療モール経営事業）

当第1四半期連結累計期間における医療モール経営事業の業績は、売上高は126百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益は19百万円（前年同期比28.1%増）となりました。

（その他）

当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の業績は、売上高は204百万円（前年同期比25.0%減）、セグメン

ト利益は21百万円（前年同期はセグメント損失8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は23,151百万円となり、前連結会計年度末残高23,746百万円に対し、595百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品が増加した一方で、現金及び預金が減少したことによるものであります。

(負債)

負債の残高は16,468百万円となり、前連結会計年度末残高17,047百万円に対し、579百万円減少いたしました。主な要因は買掛金、賞与引当金が増加した一方で、未払法人税等、その他（流動負債）、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の残高は6,683百万円となり、前連結会計年度末残高6,699百万円に対し、16百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金の残高が当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益により増加した一方で、配当金の支払により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年7月8日付の決算短信で公表いたしました令和5年5月期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,991	2,933
売掛金	484	554
商品及び製品	2,237	2,969
原材料及び貯蔵品	65	73
未収入金	3,786	3,559
その他	319	297
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	10,878	10,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,121	3,095
土地	2,616	2,612
その他（純額）	617	621
有形固定資産合計	6,355	6,328
無形固定資産		
のれん	3,220	3,181
その他	409	394
無形固定資産合計	3,629	3,576
投資その他の資産		
その他	3,045	3,028
貸倒引当金	△164	△164
投資その他の資産合計	2,881	2,864
固定資産合計	12,866	12,769
繰延資産	1	0
資産合計	23,746	23,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,109	4,373
1年内返済予定の長期借入金	2,276	2,128
未払法人税等	429	189
賞与引当金	46	248
店舗閉鎖損失引当金	50	49
その他	1,564	1,088
流動負債合計	8,477	8,078
固定負債		
社債	1,482	1,482
長期借入金	5,603	5,438
退職給付に係る負債	781	799
資産除去債務	111	111
その他	592	558
固定負債合計	8,570	8,390
負債合計	17,047	16,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,274	1,274
資本剰余金	1,529	1,529
利益剰余金	3,811	3,792
自己株式	△210	△210
株主資本合計	6,405	6,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	△5	△6
その他の包括利益累計額合計	△6	△6
新株予約権	208	208
非支配株主持分	91	95
純資産合計	6,699	6,683
負債純資産合計	23,746	23,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年6月1日 至 令和3年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年6月1日 至 令和4年8月31日)
売上高	13,062	12,861
売上原価	11,023	10,763
売上総利益	2,039	2,098
販売費及び一般管理費	1,721	1,749
営業利益	317	348
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	0
受取賃貸料	5	3
受取保険金	18	1
その他	15	9
営業外収益合計	40	16
営業外費用		
支払利息	17	14
支払手数料	1	5
賃貸原価	2	2
その他	1	1
営業外費用合計	22	23
経常利益	335	341
特別利益		
補助金収入	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	0	21
減損損失	42	—
固定資産圧縮損	—	5
特別損失合計	42	28
税金等調整前四半期純利益	293	318
法人税等	230	203
四半期純利益	62	114
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	63	111

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年6月1日 至 令和3年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年6月1日 至 令和4年8月31日)
四半期純利益	62	114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	62	114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63	110
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 令和3年6月1日 至 令和3年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	調剤薬局 事業	物販事業	医学資料 保管・ 管理事業	医療 モール 経営事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,514	1,984	163	126	12,789	273	13,062	—	13,062
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,514	1,984	163	126	12,789	273	13,062	—	13,062
セグメント利益又は損失 (△)	377	△14	21	14	399	△8	391	△73	317

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない人材派遣事業、製薬企業等向けのシステムインテグレーション事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△73百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

調剤薬局事業及びその他において、減損損失をそれぞれ0百万円、42百万円計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 令和4年6月1日 至 令和4年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	調剤薬局 事業	物販事業	医学資料 保管・ 管理事業	医療 モール 経営事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,388	1,972	169	126	12,656	204	12,861	—	12,861
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,388	1,972	169	126	12,656	204	12,861	—	12,861
セグメント利益又は損失 (△)	398	△35	20	19	402	21	424	△75	348

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない人材派遣事業、製薬企業等向けのシステムインテグレーション事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△75百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「調剤薬局事業」「物販事業」の各事業内に含めておりました卸売に係る取引においては、各報告セグメントから「その他」セグメントに統合しております。これは経営管理上の意思決定や業績区分を見直した結果、従来のセグメントとは分けて区分することがより適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。